

平成 25 年度民営化特別養護老人ホーム等の運営状況について

- 1 法人全体 . . . . . p 1
- 2 田 柄 特別養護老人ホーム等 . . . . . p 2 ~ p 6
- 3 関 町 特別養護老人ホーム等 . . . . . p 7 ~ p 1 1
- 4 富士見台 特別養護老人ホーム等 . . . . . p 1 2 ~ 1 7
- 5 大 泉 特別養護老人ホーム等 . . . . . p 1 8 ~ 2 3

# 1 法人全体

## 施設運営上の課題と取組の方向性

### (1) 平成 25 年度～平成 26 年度上半期の運営課題と取組の状況

#### 中期計画の中間年の見直し

計画期間（平成 23 年度～平成 27 年度）の中間年である平成 25 年 10 月に、当初計画の見直しを行い、変更 25 事業、廃止 2 事業、新規 6 事業の計画の見直しを行いました。

#### 認知症ケアの推進

認知症ケアの推進に係るグランドデザインを示し、ケアの標準化を図る取り組みを進め、本人本位のケアマネジメントの実践力の向上に努めてきました。また、認知症ケアを助ける施設環境づくりの取り組みも継続的に進めています。

#### 看取り介護や医療的ケアなど専門性の高い介護および医療と介護の連携の推進

看取り介護は、ご本人の意思またはご本人の意思を推察できる家族の意向により、施設で安らかな最期を迎えられるように看取りケアを行っています。また、口腔内の痰の吸引や胃ろうによる経管栄養などの医療的介護行為を、研修を受けた介護職が行える体制を整えています。

また、医療と介護の連携は住み慣れた地域で、必要な医療・介護サービスを継続的・一体的に受けられる「地域包括ケアシステム」の構築のために必要不可欠であり、今後とも一層、連携を強化していきます。

#### 自立支援の推進

デイサービスセンターでは、お客様ご自身の出来ることを活かした支援を行い、在宅における日常生活が継続できることをめざし、要支援状態や要介護状態の軽減または重度化の防止に努めています。

#### 都市型ケアハウス「橋戸の丘」の整備

練馬区の第 5 期高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画の計画事業でもある都市型ケアハウスの整備を進め、本年 12 月 1 日に開設しました。

### (2) 平成 26 年度下半期～平成 27 年度の取り組み予定

#### 平成 27 年度の介護保険制度改正への対応

国は平成 27 年度に介護保険制度を大幅に改正する予定です。この改正が行われると、事業団にとっては経営面や人事面で大きな影響を受けることとなります。現段階で明らかになっている情報に基づいて課題ごとにプロジェクトチームなどにより対応を検討しています。

#### 地域貢献事業の取り組み

社会福祉法人の社会的使命である地域貢献事業について、職員からの提案を基に、居場所づくりを軸として、交流や生活課題の相談を受ける場を提供する事業の立ち上げの検討を始めました。

#### 高齢者相談センター（地域包括支援センター）業務の安定的な運営

平成 27 年度から受託できることとなった光が丘高齢者相談センター業務について、地域包括ケアシステム構築の中核機関としての役割を果たすために担当圏域のニーズを把握し地域において包括的支援業務を着実に実施する役割を担います。

## 2 田柄特別養護老人ホーム等

### (1) 収支状況

特別養護老人ホーム	A：予算		B：決算		A - B：差額	
	歳入	435,798 千円	歳入	439,909 千円	歳入	- 4,111 千円
	介護保険	432,324 千円	介護保険	435,169 千円	介護保険	- 2,845 千円
	その他	3,474 千円	その他	4,740 千円	その他	- 1,266 千円
	歳出	431,102 千円	歳出	437,744 千円	歳出	- 6,642 千円
	人件費	282,456 千円	人件費	280,560 千円	人件費	1,896 千円
	運営費	126,294 千円	運営費	124,541 千円	運営費	1,753 千円
	その他	22,352 千円	その他	32,643 千円	その他	- 10,291 千円
	- 収支	4,696 千円	収支	2,165 千円	収支	2,531 千円

ショートステイ	A：予算		B：決算		A - B：差額	
	歳入	36,459 千円	歳入	38,429 千円	歳入	- 1,970 千円
	介護保険	36,380 千円	介護保険	38,257 千円	介護保険	- 1,877 千円
	その他	79 千円	その他	172 千円	その他	- 93 千円
	歳出	36,114 千円	歳出	38,090 千円	歳出	- 1,976 千円
	人件費	23,263 千円	人件費	23,030 千円	人件費	233 千円
	運営費	11,435 千円	運営費	10,534 千円	運営費	901 千円
	その他	1,416 千円	その他	4,526 千円	その他	- 3,110 千円
	- 収支	345 千円	収支	339 千円	収支	6 千円

デイサービスセンター	A：予算		B：決算		A - B：差額	
	歳入	112,225 千円	歳入	111,352 千円	歳入	873 千円
	介護保険	111,688 千円	介護保険	110,605 千円	介護保険	1,083 千円
	その他	537 千円	その他	747 千円	その他	- 210 千円
	歳出	108,168 千円	歳出	109,998 千円	歳出	- 1,830 千円
	人件費	66,757 千円	人件費	66,538 千円	人件費	219 千円
	運営費	25,468 千円	運営費	25,251 千円	運営費	217 千円
	その他	15,943 千円	その他	18,209 千円	その他	- 2,266 千円
	- 収支	4,057 千円	収支	1,354 千円	収支	2,703 千円

## (2) 利用者状況

## 定員等

	定員	年間稼働日数	利用可能定員
特養	100人	365日	36,500人
ショート	8人	365日	2,920人
デイ	40人	309日	12,360人

利用可能定員 = 定員 × 年間稼働日数

## 利用者数（実数）

	要支援		要介護					利用者数計	平均要介護度
	1	2	1	2	3	4	5		
特養	-	-	10人	50人	70人	424人	637人	1,191人	4.4
ショート	0人	0人	24人	70人	213人	120人	171人	598人	3.6
デイ	26人	36人	268人	445人	360人	127人	91人	1,353人	2.5

平均要介護度 = 要介護 1 ~ 5 利用者の介護度合計 / 要介護 1 ~ 5 利用者数計

## 延利用者数

	延利用者数計	稼働率
特養	35,367人	96.9%
ショート	2,984人	102.2%
デイ	10,750人	87%

稼働率 = 利用延者数計 / 利用可能定員 × 100

## 新規入退所・登録状況

	新規入所（登録）者数	退所（利用中止）者数	増減
特養	20人	22人	2人
デイ	26人	38人	12人

(3) 施設運営状況  
苦情等の対応

施設	発生年月	内容	対応
ショートステイ	25年7月	送迎時の職員同乗等ムダが多いが効率化を図るべきだ。こういう意見があることを伝えてほしい。	送迎時に添乗職員がいないと緊急時に安全確保ができないため、早急な体制の変更は難しいが、ご意見として経営会議で報告しました。
ショートステイ	25年8月	ショートステイの実施記録を見ると11日間で2回しか入浴していないがすくないのではないかと。	対象のお客様は途中で日程の延長があったため、4回入浴していたが実施記録に記入漏れが発生してしまいました。職員に正確に記載するように指導し、ご家族へ誤解を与えてしまったことを謝罪しました。

事故等の対応

施設	発生年月	内容	対応
特養	25年11月	お客様の席が変更されていたが、確認が出来ていなかったため、介護士が付き添い介助中に、少し待つて欲しいとお客様の歩行車を押さえたが、お客様は歩行を続けたため転倒し大腿骨を骨折した。	行き先を確認してから介助に移ることを職員間で徹底しました。また、クッションパンツの着用で転倒時に衝撃減少させるなど介護方法を検討し、安全対策を強化しました。
特養	25年12月	お客様に介護士室前のソファへ座わっていただいたが、お一人で立ち上がり転倒し、大腿骨を骨折した。	立ち上がる時に掴まるものがあると転倒を防げるため、着席する環境に配慮することを職員間で周知しました。

地域貢献に関する取組状況

施設	実施年月	内容
特養	26年1月	「まる得！若返り教室」を実施し、地域の介護予防に貢献するとともに必要な社会資源につなげる役割を果たしています。
特養 デイ	26年3月	3月11日、光が丘消防署立会いのもと田柄防災連合会と合同で総合防災訓練と炊き出し訓練を行いました。

研修等の実施状況

施設	実施年月	内容
特養 デイ	26年2月	非正規職員対象研修として法人統一の内容で認知症ケア、医療連携、移乗・移動介助、リスクマネジメントの4科目の研修を開始しました。3年計画で全員の研修を終える予定です。
居宅・支所 デイ・特養	26年3月	併設のすべての事業所合同で認知症ケアの事例検討会を継続的に実施していくことになりました。その準備としてセンター方式の勉強会を行いました。

配置人員数【平成 26 年 3 月末現在】

単位：人（法定配置数）

	施設長	介護士			看護師			その他		合計
		常勤	非常勤	常勤換算	常勤	非常勤	常勤換算	常勤	非常勤	
特養 (ショート含)	1	37 人	14 人	47.5 人	3 人	4 人	6.3 人	6 人	14 人	78 人
		( 33 人 )			( 3 人 )					
デイ	1	4 人	14 人	12.2 人	1 人	2 人	1.6 人	2 人	12 人	35 人
		( 6 人 )			( 1 人 )					

介護士・看護師の入退職の状況

職種・雇用形態		年度当初職員数	年度内入職者数	年度内離職者数
介護士	常勤	42 人	人	1 人
	非常勤	30 人	1 人	3 人
看護師	常勤	5 人	0 人	1 人
	非常勤	6 人	0 人	0 人

人員数は特養（ショート含）・デイの合計数

年度当初職員数は、平成 25 年 4 月 1 日時点の在籍職員数

年度内入職者数は、平成 25 年 4 月 2 日から平成 25 年度末までに入職した職員数

年度内離職者数は、当該年度内に離職した者のうち、あらかじめ期間を定めた雇用契約の終了または定年退職者による離職以外の事由による離職者数

#### (4) 施設運営上の課題と取組の方向性

平成 25 年度～平成 26 年度上半期の運営課題と取組の状況

##### ア 看取りケアの充実

3年連続で家族懇談会に合わせ「看取り」をテーマに講演会を実施したこともあり、看取りケアはご家族・職員の間で定着しました。「元気な今のうちにしておきたいこと」アンケートをとり終末期もその人らしく過ごしていただけるよう努めています。

##### イ ショートステイ事業の見直し

ショートステイ事業の見直しは計画的に進めることができました。ショートステイご利用の認知症のお客様の事例検討会を他事業所と合同で行うことでより深いアセスメントができ、ケアの実践につながっています。

##### ウ ワークライフバランスの推進

働きやすい職場環境をめざし、取得が難しかった有給休暇の取得率向上を目指しました。26年度は時間外労働の削減に取り組み、成果がでています。

##### エ 特養目標利用率の達成

24年度から目標利用率を達成するための改善を実施しましたが、2年目で96%の目標を達成できました。

平成 26 年度下半期～平成 27 年度の取組予定

##### ア 認知症ケアの充実

外部専門家の指導で認知症ケア実践推進事業に取り組み、認知症ケアへの取り組みが大きく前進しました。

##### イ 食事と排せつのケアの充実

個々の排せつパターンにそったケアの確立を目指します。食事のケアも一人ひとりに合った食事方法、形態、食器を検討しています。新しい食事形態の「やわらか食」の導入も26年度中に実現できる予定です。

##### ウ 新会計基準への移行

前年度から会計責任者、担当者が研修を受け、準備を進めてきましたが、滞りなく会計処理が進んでいます。

##### エ 家族との協力

「ご家族はパートナー」を合言葉にご家族に担っていただくことを示してきましたが、27年度は今後のサービスのあり方を見直し、ご家族の役割をより明確にして、一緒に入居のお客様を支える仕組みを作ります。

##### オ 利用率の向上

27年度は介護報酬が引き下げの見込みです。特養97%、ショートステイ100%の利用率を維持し収入の確保に努めます。

### 3 関町特別養護老人ホーム等

#### (1) 収支状況

特別養護老人ホーム	A：予算		B：決算		A - B：差額	
	歳入	304,631 千円	歳入	299,096 千円	歳入	5,535 千円
	介護保険	301,127 千円	介護保険	295,729 千円	介護保険	5,398 千円
	その他	3,504 千円	その他	3,367 千円	その他	137 千円
	歳出	346,541 千円	歳出	341,006 千円	歳出	5,535 千円
	人件費	225,765 千円	人件費	223,066 千円	人件費	2,699 千円
	運営費	105,001 千円	運営費	103,279 千円	運営費	1,722 千円
	その他	15,775 千円	その他	14,661 千円	その他	1,114 千円
	- 収支	- 41,910 千円	収支	- 41,910 千円	収支	0 千円

ショートステイ	A：予算		B：決算		A - B：差額	
	歳入	44,489 千円	歳入	42,454 千円	歳入	2,035 千円
	介護保険	44,453 千円	介護保険	42,358 千円	介護保険	2,095 千円
	その他	36 千円	その他	96 千円	その他	- 60 千円
	歳出	51,875 千円	歳出	51,903 千円	歳出	- 28 千円
	人件費	29,067 千円	人件費	28,811 千円	人件費	256 千円
	運営費	16,250 千円	運営費	15,281 千円	運営費	969 千円
	その他	6,558 千円	その他	7,811 千円	その他	- 1,253 千円
	- 収支	- 7,386 千円	収支	- 9,449 千円	収支	2,063 千円

デイサービスセンター	A：予算		B：決算		A - B：差額	
	歳入	112,416 千円	歳入	115,714 千円	歳入	- 3,298 千円
	介護保険	111,872 千円	介護保険	114,895 千円	介護保険	- 3,023 千円
	その他	544 千円	その他	819 千円	その他	- 275 千円
	歳出	157,923 千円	歳出	152,333 千円	歳出	5,590 千円
	人件費	71,203 千円	人件費	66,888 千円	人件費	4,315 千円
	運営費	34,102 千円	運営費	33,547 千円	運営費	555 千円
	その他	52,618 千円	その他	51,898 千円	その他	720 千円
	- 収支	- 45,507 千円	収支	- 36,619 千円	収支	- 8,888 千円



## (2) 利用者状況

## 定員等

	定員	年間稼働日数	利用可能定員
特養	70人	365日	25,500人
ショート	10人	365日	3,650人
デイ	40人	309日	12,360人

利用可能定員 = 定員 × 年間稼働日数

## 利用者数（実数）

	要支援		要介護					利用者 数計	平均 要介護 度
	1	2	1	2	3	4	5		
特 養	-	-	人	12人	153人	287人	368人	820人	4.2
ショート	0人	1人	19人	105人	145人	111人	64人	445人	3.2
デ イ	40人	110人	401人	405人	274人	269人	68人	1,567人	2.4

平均要介護度 = 要介護 1 ~ 5 利用者の介護度合計 / 要介護 1 ~ 5 利用者数計

## 延利用者数

	延 利用者数計	稼働率
特 養	24,272人	95%
ショート	3,475人	95.2%
デ イ	10,652人	86.2%

稼働率 = 利用延者数計 / 利用可能定員 × 100

## 新規入退所・登録状況

	新規入所（登録）者数	退所（利用中止）者数	増減
特養	24人	23人	1人
デイ	50人	59人	9人

### (3) 施設運営状況

#### 苦情等の対応

施設	発生年月	内容	対応
ショート	26年3月	居室内に手すりが少ない。宿泊させることに不安を感じる。	お客様の不安解消と安全環境確保のため、居室内にも手すりを設置しました。
デイ	26年10月	お客様の乗降のため一方通行の道路に停車中、後続車が通り抜け困難になり、すれ違時に謝罪も無いとの区民よりの苦情	謝罪し、対応策を説明。全送迎員への注意喚起と停車時間短縮のためご家族、ケアマネジャーと調整をおこないました。

#### 事故等の対応

施設	発生年月	内容	対応
特養	26年6月	入居者より疥癬が発生した。	対応マニュアルに沿って対応し、他に罹患者の発生はありませんでした。ご本人の症状も内服と軟膏薬で改善しました。
デイ	26年10月	送迎左折時、右側の工事中の家の足場が道路側に出ていたため、それを避けようとした際、車両左側側面がコンクリート塀の土台と接触した。	乗車中のお客様への影響はありません。事故は警察に届け、塀の家の方にお詫びました。運転者へ厳重注意と徐行確認を促しました。

#### 地域貢献に関する取組状況

施設	実施年月	内容
特養	26年9月	区内小学校、中学校の総合学習プログラムの福祉体験授業(車椅子体験・高齢者疑似体験)での講師として職員派遣を実施しました。
特養	通年	地域の住民、福祉関係者で組織する「しあわせ福祉ネット・関」に参加し、情報提供や施設活用のアピール等を行っています。また、関連する行事等では施設の福祉用具や備品の貸し出等の対応をしています。

#### 研修等の実施状況

施設	実施年月	内容
全部所	26年12月	全非正規職員を対象としたスキル向上の取り組みとして、テーマ別研修会を事業所内で開催しました。
特養	26年10月	特養全職員を対象に食中毒・感染予防について、予防対策と発生時の初動対応、拡大防止対応等について事業所内で開催しました。

配置人員数【平成 26 年 3 月末現在】

単位：人（法定配置数）

	施設長	介護士			看護師			その他		合計
		常勤	非常勤	常勤換算	常勤	非常勤	常勤換算	常勤	非常勤	
特養 (ショート含)	1	34 人	5 人	36.7 人	5 人	1 人	5.4 人	6 人	7 人	58 人
		( 24 人 )			( 3 人 )					
デイ	1	4 人	11 人	10.9 人	2 人	2 人	1.6 人	1 人	9 人	29 人
		( 6 人 )			( 1 人 )					

介護士・看護師の入退職の状況

職種・雇用形態		年度当初 職員数	年度内 入職者数	年度内 離職者数
介護士	常勤	37 人	1 人	1 人
	非常勤	15 人	5 人	4 人
看護師	常勤	6 人	1 人	0 人
	非常勤	4 人	0 人	1 人

人員数は特養（ショート含）・デイの合計数

年度当初職員数は、平成 25 年 4 月 1 日時点の在籍職員数

年度内入職者数は、平成 25 年 4 月 2 日から平成 25 年度末までに入職した職員数

年度内離職者数は、当該年度内に離職した者のうち、あらかじめ期間を定めた雇用契約の終了または定年退職者による離職以外の事由による離職者数

#### (4) 施設運営上の課題と取組の方向性

平成 25 年度～平成 26 年度上半期の運営課題と取組の状況

##### ア 「人権尊重」を基調とした業務の推進（中・長期課題）

- ・人権担当のチームを設け、人権尊重の視点から各業務の見直しと改善に取り組みました。
  - ・プライバシー保護、虐待防止、身体拘束ゼロの推進、個人情報保護など、コンプライアンス意識の醸成を図るため施設内研修を実施し、前年度に引き続き取り組みました。
- なお、今年度は職業倫理研修を加えコンプライアンスの充実に取り組みました。

##### イ 人材育成

- ・人材育成のためのチームを設置。「コミュニケーション力」と「チーム力」の向上を図るために学習会や伝達研修を職場内で開催し取り組みました。
- ・働く環境や職場風土の改善に力を入れ、人材の定着を維持する取り組みを実施しました。常勤職員のうち、正規介護職員の離職者は平成 24 年度以降、0 名を継続しています。

##### ウ 認知症ケアの充実

- ・法人で策定した「認知症ケアにかかわる取り組み＝グランドデザイン」に基づき、事例検討会等を実施し、ケアの向上に計画的に取り組みました

##### エ 経営基盤の安定

- ・特養・短期入所の利用率目標（97%）の進捗管理を徹底し、職員の経営参画意識の醸成に取り組みました。稼働率は前年同期に比して向上しています。

平成 26 年度下半期～平成 27 年度の取組予定

##### ア 上記、 の平成 25 年度～平成 26 年度上半期の運営課題については、引き続き取り組みを継続します。

##### イ 食中毒及び感染症予防の徹底と職員のリスク管理に取り組みます。

##### ウ 外部環境をめぐる様々な変化（社会経済、介護保険制度、社会福祉法人のあり方等）に対応した、職員の働き方、サービス提供のあり方等の検討を全体で検討します。

##### エ 建物及び設備の老朽化対策に取り組みます。

#### 4 富士見台特別養護老人ホーム等

##### (1) 収支状況

特別養護老人ホーム	A：予算		B：決算		A - B：差額	
	歳入	251,053 千円	歳入	241,579 千円	歳入	9,474 千円
	介護保険	227,461 千円	介護保険	222,354 千円	介護保険	5,107 千円
	その他	23,592 千円	その他	19,225 千円	その他	4,367 千円
	歳出	264,624 千円	歳出	255,150 千円	歳出	9,474 千円
	人件費	177,558 千円	人件費	173,066 千円	人件費	4,492 千円
	運営費	79,039 千円	運営費	75,331 千円	運営費	3,708 千円
	その他	8,027 千円	その他	6,753 千円	その他	1,274 千円
	- 収支	- 13,571 千円	収支	- 13,571 千円	収支	0 千円

ショートステイ	A：予算		B：決算		A - B：差額	
	歳入	27,956 千円	歳入	27,603 千円	歳入	353 千円
	介護保険	27,882 千円	介護保険	27,456 千円	介護保険	426 千円
	その他	74 千円	その他	147 千円	その他	- 73 千円
	歳出	40,462 千円	歳出	39,768 千円	歳出	694 千円
	人件費	12,710 千円	人件費	12,808 千円	人件費	- 98 千円
	運営費	9,925 千円	運営費	9,313 千円	運営費	612 千円
	その他	17,827 千円	その他	17,647 千円	その他	180 千円
	- 収支	- 12,506 千円	収支	- 12,165 千円	収支	- 341 千円

デイサービスセンター	A：予算		B：決算		A - B：差額	
	歳入	159,148 千円	歳入	156,871 千円	歳入	2,277 千円
	介護保険	158,673 千円	介護保険	156,300 千円	介護保険	2,373 千円
	その他	475 千円	その他	571 千円	その他	- 96 千円
	歳出	214,529 千円	歳出	209,370 千円	歳出	5,159 千円
	人件費	88,013 千円	人件費	89,465 千円	人件費	- 1,452 千円
	運営費	33,492 千円	運営費	31,547 千円	運営費	1,945 千円
	その他	93,024 千円	その他	88,358 千円	その他	4,666 千円
	- 収支	- 55,381 千円	収支	- 52,499 千円	収支	- 2,882 千円

## (2) 利用者状況

## 定員等

	定員	年間稼働日数	利用可能定員
特養	50人	365日	18,250人
ショート	6人	365日	2,190人
デイ	40人	309日	12,360人
認知症デイ	12人	309日	3,708人

利用可能定員 = 定員 × 年間稼働日数

## 利用者数（実数）

	要支援		要介護					利用者数計	平均要介護度
	1	2	1	2	3	4	5		
特養	-	-	12人	31人	34人	142人	374人	593人	4.4
ショート	1人	1人	42人	56人	94人	49人	102人	345人	3.3
デイ	35人	34人	247人	505人	233人	99人	72人	1,225人	2.4
認知症デイ	0人	0人	6人	15人	109人	93人	81人	304人	3.8

平均要介護度 = 要介護 1 ~ 5 利用者の介護度合計 / 要介護 1 ~ 5 利用者数計

## 利用者数（延数）

	延利用者数計	稼働率
特養	17,601人	96.4%
ショート	2,196人	100.3%
デイ	10,747人	86.9%
認知症デイ	3,074人	82.9%

稼働率 = 利用延者数計 / 利用可能定員 × 100

新規入退所・登録状況

	新規入所（登録）者数	退所（利用中止）者数	増減
特養	15人	15人	0人
デイ	43人	40人	3人
認知症 デイ	13人	18人	5人

### (3) 施設運営状況

#### 苦情等の対応

施設	発生年月	内容	対応
特養	26年2月	首都直下型地震を想定しての防災訓練時、非常食の提供を実践した。その際に、非常食提供の説明がなく「いつもと違い、美味しくない。」との声があった。	防災訓練の説明はしたが、災害時非常食提供訓練の実施をすることの説明をしていなかったことを謝罪しました。災害時でも提供できる食事として味も厳選したことも伝えました。
特養	26年6月	災害時の避難場所が分からない。他の利用者も分かっていないと思う。との声があった。	防災訓練の際に、入所者の方に参加していただき避難場所、非常口、非常階段、外螺旋滑り台を案内しました。

#### 事故等の対応

施設	発生年月	内容	対応
特養	26年10月	車いす走行介助中にお客様の体幹のバランスが崩れ、前のめりに車いすから転落。車いすのフットホールドがついてなかった。	車いす走行介助時には、フットホールドは必ず装着することを、ルールとして再周知しました。
特養	26年9月	居室トイレに案内後、排泄ケア用品を取りにトイレから離れた。その間にご本人がトイレから歩き出て転倒した。	ケア中に離れることがないように排泄ケア用品を持ち、いつでも対応ができるようにしました。

#### 地域貢献に関する取組状況

施設	実施年月	内容
特養 デイ	年 月 通年	2つの筋力向上自主トレーニンググループに週2回ずつの施設開放と指導、地域ボランティアの活動拠点として施設開放・特養での活動を支援、介護サポーターを養成し他事業所での活動をコーディネートしました。
特養 デイ	年 月 通年	地域や学校、関係機関からの要請を受けての講師派遣をして研修を通じた情報の発信や施設介護の研究発表で成果を紹介しました。

#### 研修等の実施状況

施設	実施年月	内容
特養	年 月 通年	毎月1～2年間21のテーマをより多くの職員が参加できるよう1週間の繰り返しの伝達研修を企画・実施し、その感想や質問メモで効果を確認しました。
特養 デイ	年 月 通年	非正規職員を対象にした法人共通の4テーマを、研修実施のためのインストラクター研修を受けた職員が企画・実施し、全非正規職員は受講しました。



配置人員数【平成 26 年 3 月末現在】

単位：人（法定配置数）

	施設長	介護士			看護師			その他		合計
		常勤	非常勤	常勤換算	常勤	非常勤	常勤換算	常勤	非常勤	
特養 (ショート含)	1	21 人	5 人	24.8 人	4 人	3 人	5.2 人	4 人	7 人	44 人
		( 16 人 )			( 3 人 )					
デイ	1	6 人	15 人	16.6 人	1 人	2 人	1.6 人	2 人	17 人	43 人
		( 8 人 ( 認知症 2 人 ) )			( 1 人 )					

介護士・看護師の入退職の状況

職種・雇用形態		年度当初 職員数	年度内 入職者数	年度内 離職者数
介護士	常勤	28 人	0 人	4 人
	非常勤	20 人	2 人	2 人
看護師	常勤	5 人	0 人	0 人
	非常勤	3 人	2 人	0 人

人員数は特養（ショート含）・デイの合計数

年度当初職員数は、平成 25 年 4 月 1 日時点の在籍職員数

年度内入職者数は、平成 25 年 4 月 2 日から平成 25 年度末までに入職した職員数

年度内離職者数は、当該年度内に離職した者のうち、あらかじめ期間を定めた雇用契約の終了または定年退職者による離職以外の事由による離職者数

#### (4) 施設運営上の課題と取組の方向性

平成 25 年度～平成 26 年度上半期の運営課題と取組の状況

- ア 看取りへの社会的理解と期待に沿う終末期ケアを実践しました。  
平成 25 年度 14 名の方が最期まで施設での生活を希望され看取りました。
- イ 認知症ケアの推進ために専門家により事例検討を通して認知症の方の言動から分析するアセスメント法や対応を学びました。また、認知症のケア技術としての新たな手法を取り入れ実践での効果を確認しました。
- ウ 特養にできる在宅介護支援であるショートステイを、利用する立場に立ったサービスになるよう利用送迎時の家族付添いは原則なし、利用中の状況を更に解り易く伝えるための写真を添える、プログラム活動を計画化し充実させるなど改善に努め利用満足度を高めました。新たな試みとして、地域の介護支援専門員対象の施設見学会を年 2 回開催しました。富士見台特別養護老人ホームでのショートステイを理解してもらい、利用者サービスにマネジメントする際に説明が具体化にできるようになることを期待しています。

平成 26 年度下半期～平成 27 年度の取組予定

- ア 人材の定着を維持するために業務量の適正化と、職員の心身への負担軽減になるよう介護技術等の工夫をします。
- イ 施設は入所者の生活を最後まで支えるため、細やかにご家族に情報提供を行い、ご家族とともに支援します。
- ウ 緊急ショートステイに対して、担当職員が不在時であっても適切に対応できる体制を維持し利用率の維持をします。

## 5 大泉特別養護老人ホーム等

### (1) 収支状況

特別養護老人ホーム	A：予算		B：決算		A - B：差額	
	歳入	517,541 千円	歳入	510,751 千円	歳入	6,790 千円
	介護保険	515,443 千円	介護保険	507,380 千円	介護保険	8,063 千円
	その他	2,098 千円	その他	3,371 千円	その他	- 1,273 千円
	歳出	644,851 千円	歳出	648,080 千円	歳出	- 3,229 千円
	人件費	342,443 千円	人件費	339,634 千円	人件費	2,809 千円
	運営費	161,847 千円	運営費	164,837 千円	運営費	- 2,990 千円
	その他	140,561 千円	その他	143,609 千円	その他	- 3,048 千円
	- 収支	- 127,310 千円	収支	- 137,329 千円	収支	10,019 千円

ショートステイ	A：予算		B：決算		A - B：差額	
	歳入	67,424 千円	歳入	73,994 千円	歳入	- 6,570 千円
	介護保険	67,194 千円	介護保険	73,531 千円	介護保険	- 6,337 千円
	その他	230 千円	その他	463 千円	その他	- 233 千円
	歳出	117,225 千円	歳出	117,678 千円	歳出	- 453 千円
	人件費	34,897 千円	人件費	35,063 千円	人件費	- 166 千円
	運営費	20,208 千円	運営費	19,709 千円	運営費	499 千円
	その他	62,120 千円	その他	62,906 千円	その他	- 786 千円
	- 収支	- 49,801 千円	収支	- 43,684 千円	収支	- 6,117 千円

デイサービスセンター	A：予算		B：決算		A - B：差額	
	歳入	147,043 千円	歳入	144,328 千円	歳入	2,715 千円
	介護保険	146,213 千円	介護保険	143,402 千円	介護保険	2,811 千円
	その他	830 千円	その他	926 千円	その他	- 96 千円
	歳出	195,972 千円	歳出	194,622 千円	歳出	1,350 千円
	人件費	88,315 千円	人件費	87,237 千円	人件費	1,078 千円
	運営費	30,396 千円	運営費	29,123 千円	運営費	1,273 千円
	その他	77,261 千円	その他	78,262 千円	その他	- 1,001 千円
	- 収支	- 48,929 千円	収支	- 50,294 千円	収支	1,365 千円

## (2) 利用者状況

## 定員等

	定員	年間稼働日数	利用可能定員
特養	120人	365日	43,800人
ショート	15人	365日	5,475人
デイ	40人	309日	12,360人
認知症デイ	12人	309日	3,708人

利用可能定員 = 定員 × 年間稼働日数

	要支援		要介護					利用者数計	平均要介護度
	1	2	1	2	3	4	5		
特養	-	-	22人	115人	126人	411人	719人	1,393人	4.2
ショート	1人	1人	50人	117人	265人	194人	193人	821人	3.4
デイ	11人	30人	271人	458人	355人	110人	34人	1,269人	2.3
認知症デイ	0人	0人	6人	29人	52人	68人	64人	219人	3.7

利用者数（実数）

平均要介護度 = 要介護 1 ~ 5 利用者の介護度合計 / 要介護 1 ~ 5 利用者数計

利用者数（延数）

	延利用者数計	稼働率
特養	41,610人	95%
ショート	5,934人	108.4%
デイ	10,694人	86.5%
認知症デイ	2,388人	64.4%

稼働率 = 利用延者数計 / 利用可能定員 × 100

新規入退所・登録状況

	新規入所（登録）者数	退所（利用中止）者数	増減
特養	28人	33人	5人
デイ	19人	34人	15人
認知症 デイ	8人	8人	0人

### (3) 施設運営状況

#### 苦情等の対応

施設	発生年月	内容	対応
特養	25年9月	ご家族より、「小さな怪我(痣など)の報告は電話でされるとびっくりするので、やめてほしい。」とご意見をいただいた。	報告内容について、ご家族の面会時に報告してよい内容と、その都度電話報告する内容をご家族と確認して取り決めました。
特養	25年4月	夕食中誤嚥し、病院に搬送された。介護に課題があったのではとご家族よりご意見をいただく。	嚥下機能の低下が課題となりつつあったため、退院後、嚥下機能の検査に家族にも立会いいただき、今後の介護について検討することとしました。

#### 事故等の対応

施設	発生年月	内容	対応
ショート	26年1月	認知症がある利用者で、歩行はシルバーカーを利用していたが、転倒して右腕橈骨骨折となった。	ショートステイを延長し、転倒予防への取組みと、在宅復帰にむけて機能訓練を行いました。
特養	26年1月	ベッド上での排泄介助中、右大腿部付近の変形、熱感があった。転倒等はなかったが、検査の結果骨折していた。	検査の結果、骨粗鬆症がひどく、くしゃみや本人の寝返りでも骨折する状況でした。家族への理解をはかると共に、負荷がかからない介護を統一して実施できるようにしました。

#### 地域貢献に関する取組状況

施設	実施年月	内容
特養	通年	地域で活動していただく「介護サポーター」の養成を、練馬区の委託を受けて年2回実施しています。地域の介護施設で、活躍いただけるよう基本的な知識と技術の研修を行った後、活動のコーディネートをしている。これまで、200名以上の人材の育成をしました。
特養	通年	障がい者雇用と就業訓練等の受け入れには積極的に取り組んでいます。また、隣接の福祉作業所や障害者支援施設の活動施設として、毎週受け入れて障がい者の社会参加に対する支援を行っています。

#### 研修等の実施状況

施設	実施年月	内容
特養	通年	年間を通じて、職員の資質向上を目指して、法人や研修センター主催の研修に81回(延150人)参加しました。また、外部研修には50回(50人)参加しています。

特養	通年	年間を通じて、基本介護技術や認知症ケアの向上等を目指した内部研修を、48回(延435人)実施しました。
----	----	---

配置人員数【平成26年3月末現在】

単位：人（法定配置数）

	施設長	介護士			看護師			その他		合計
		常勤	非常勤	常勤換算	常勤	非常勤	常勤換算	常勤	非常勤	
特養 (ショート含)	1	50人	13人	59.3人	4人	5人	6.6人	11人	11人	94人
		(41人)			(4人)					
デイ	1	8人	14人	16.8人	1人	3人	1.6人	3人	13人	42人
		(8人(認知症2人))			(1人)					

介護士・看護師の入退職の状況

職種・雇用形態		年度当初職員数	年度内入職者数	年度内離職者数
介護士	常勤	61人	0人	5人
	非常勤	26人	6人	4人
看護師	常勤	6人	0人	2人
	非常勤	4人	4人	0人

人員数は特養(ショート含)・デイの合計数

年度当初職員数は、平成25年4月1日時点の在籍職員数

年度内入職者数は、平成25年4月2日から平成25年度末までに入職した職員数

年度内離職者数は、当該年度内に離職した者のうち、あらかじめ期間を定めた雇用契約の終了または定年退職者による離職以外の事由による離職者数

#### (4) 施設運営上の課題と取組の方向性

平成 25 年度～平成 26 年度上半期の運営課題と取組の状況

- ア より良いサービスの提供をめざして取り組んでいます。
  - ・認知症ケア向上のために、アドバイザーの支援を受け職員の気づきの力を高めました。
  - ・職員の資質の向上のため、内外の研修に参加させ、学びを実践に移すために取り組みました。
- イ 安定した運営を行うため、収入の確保と計画的な支出に努めました。
  - ・特養利用率とショートステイの利用率の合算で 97% を目標として取り組みました。
  - ・業務の効率化に取り組み、設備、清掃、警備が別々の委託となっていたのを統一仕様書を作成し、一括での委託にするなど効率化に取り組みました。
- ウ 災害等への対策を強化しました。
  - ・大規模災害に備えた B C P を更新し、B C P に基づいた訓練を計画的に実施しました。

平成 26 年度下半期～平成 27 年度の取組予定

- ア より良いサービスを提供していくために、対策を継続して実地します。
  - ・認知症ケアの質の向上のために、アドバイザーの支援を受けて全施設的な取り組みを継続します。
  - ・職員研修については、内部研修と OJT を中心として、すべての職員が統一して高い技術で援助できるように支援します。
  - ・家族との連携の強化と看取り体制に対する啓発活動を実施します。
- イ 安定した運営を行うため、収入の確保と計画的な執行に努めます。
  - ・特養とショートステイの利用率を 97% から 98% に移行して収入の確保に努めます。
  - ・業務の効率化と経費の削減に努めます。
- ウ 災害等への対策を強化します。
  - ・B C P に基づく現実的な訓練を実施し、職員の対応力と意識を高めます。
  - ・災害に備える体制を作るため、定期的な内部点検を実施します。
- エ 介護人材の育成へ取り組みます。
  - ・未来の介護人材の育成に向けた、子供や一般区民を対象とした福祉講座（仮称）を開催し、広く介護や福祉に関心を持っていただく人材を育成します。